



発行
日本共産党
寝屋川市議員団
824-1181(内線2399)
FAX 824-7760
Email:jcpnce@cc-net.or.jp
NO・2462

太田 とおる
高柳2-49-2
TEL.826-1664
田中 ひさ子
国松町10-36
TEL.823-1714
中林 かずえ
宝町4-33
TEL.839-2289
中谷 光夫
高宮2-19-5
TEL.823-5947
松尾 信次
下木田町12-6
TEL.821-7427

市が設置した歯科診療所・療育相談室

あかつき・ひばり園 やっぱり公設公営やで

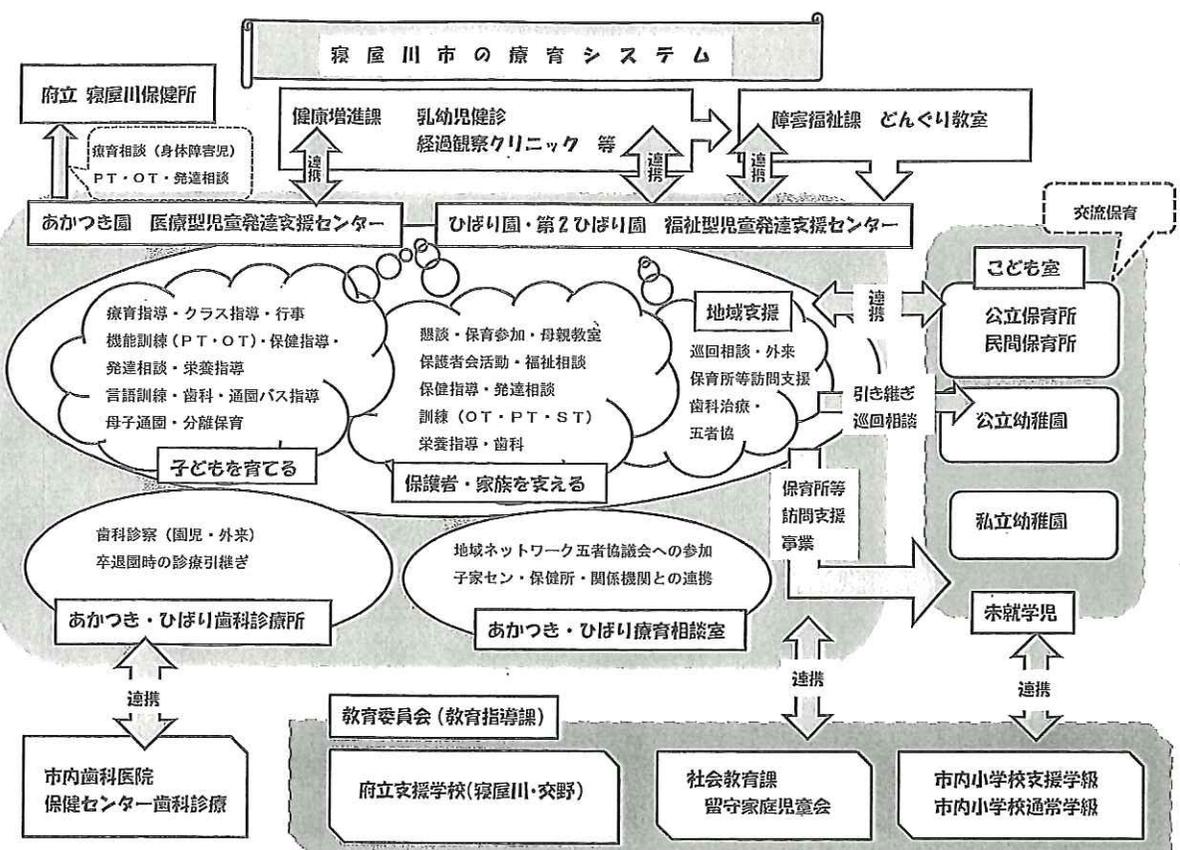
「寝屋川のより良い療育をめざす会」が、6月市議会に向けて「児童発達支援センターあかつき・ひばり園を公設公営で継続して下さい。」と請願署名運動に取り組んでいます。3月市議会でも市長が「指定管理者制度の導入を検討する」と方針を掲げたことに対してです。

寝屋川の障害乳幼児の施策について、関係者は大きく3つの段階を明らかにしています。

①3つの市立通園施設の開設
「訓練と指導が受けられる専門施設を！」

の親たちの切実な願いにこたえて、寝屋川市は、1968年、市立児童会館（現在は教育委員会が使用）に無認可の肢体不自由児の療育センター、1970年、無認可の知的障害児の幼児教室を開設。その後、両施設兼任で保育士を1名配置するなど、「場所の提供」から一歩前進しました。このことをきっかけに、障害児の親たちの粘り強い必死の運動が市民的な協力を得る中、1973年に「あかつき園」・「ひばり園」が開設。開設後も多くの待機児童が生まれ、「すべ

「寝屋川のより良い療育をめざす会」からの申し入れ資料より



②あかつき・ひばり療育センターの開設
障害児の歯科治療は、市歯科医師会の協力で実施されていましたが、パニックや興奮、治療中のてんかん発作などの困難があり、1981年、歯科医師会の全面協力のもと、歯科診療所が開所。虫歯の治療にとどまらず、健康づくりや口腔機能の発達なども視野に入れた「障害児の健康と発達を促す療育活動の一環としての診療」を目的に掲げました。

同時に、施設福祉のあり方として「施設のオープン化」の方向をふまえ、市の独自施策として「あかつき・ひばり療育相談室」を開設。措置児の療育だけでなく、保育所入所児や在宅の重症心身障害児、入園前の低年齢児への対応など、地域に開かれた療育センターとしての機能・役割を果たす体制が整えられました。

③「どんぐり教室」の設置とネットワークの形成
その後も多く存在する待機児童対策として、

府中央児童相談所（現「寝屋川子ども家庭センター」）、寝屋川保健所、市児童課（現「子ども室」）、家庭児童相談室、あかつき・ひばり園の5機関が協議する中で、1974年に「どんぐり教室」が誕生しました。設置主体は寝屋川市、5機関から派遣するスタッフで運営、後に市が保育士3名を配置。

当初の待機児童対策から、後に障害児通園事業として位置づけ、1歳6ヶ月健診等の事後指導の場として多様な経過観察児を受け入れ、療育指導および保護者指導、進路指導等を行うなど、市の療育システムの重要な役割を担っています。

5機関を中心に、障害児の現状と課題について情報交換し、在宅重症児の実態調査や連携、共同事業の推進などの役割を担う「5者協議会」が常設されています。

こうしたネットワークが発見もれ、把握もれ、対応もれを基本的に解消する力になっています。

あ・ひ園は寝屋川の福祉の宝 事業丸投げの指定管理者制度

請願署名運動にあいつぐ市民の声

「あかつき・ひばり園の公設公営の継続を求める請願」署名運動が始まって、この間、あかつき園・ひばり園でお世話になったという卒園生、保護者、退職職員など、市民からの多くの声が私たちのところにも届いています。そのいくつかを紹介いたします。

◆あかつき園・ひばり園のつくり運動に関わりました。

最初、障害児を抱えて困っていた親たちが20人近く集まって、一軒一軒訪問して、自分たちの実状を訴え、2万近い署名を議会に提出しました。頼りにした議員さんからは、「最後まで弱音を吐くな」と激励されました。全会一致で請願が採択され、設置されることになりました。

1歳半の知能と言わ



れた息子も45歳、言葉は出ませんが、指で意思を示すことが出来ています。

育体制があり、すばらしいプロのシステムと感心している。

どもなど、どんな重度の障害児も受け入れることができてきた。

◆寝屋川では早期発見・早期療育のシステムが徹底しており、障害をもつ我が子への対応がスムーズにできている。他市では成人期の対応困難な話をよく聞く。

◆指定管理者制度は、事業運営の責任を民間に委任、丸投げするもの。目的は経費削減。委託とは違う。水準維持などあり得ない。

◆寝屋川では、4ヶ月健診や1歳半健診など

の際、成長・発達に気になるところがあれば、3ヶ月ごとの連絡があり、連絡が返って来ないときには、保健師の訪問がある。あかつき・ひばりでの専門的な療

管理になれば、継続されるのか不安。

◆この間正規職員が減らされ、非正規職員が増え、定着が困難な状況になっている。

「安倍政権の改憲暴走を許さない」 ねやがわ9条の会連絡会が緊急学習交流会

4月28日、安倍内閣は、1952年のサンフランシスコ講話条約発効から61年になるのを記念して、「主権回復の日」として式典を強行しました。

「天皇の政治利用」も厳しく批判しなければなりません。

沖縄県では、「屈辱の日」として政府に抗議する1万人集会が開かれました。

サンフランシスコ条約は、アメリカが主導する同盟の48カ国とのみ結んだものであり、千島の放棄、奄美・小



沖縄1万人抗議
「再び県民切り捨てか」

憲法が危ない!
5・18緊急学習交流会
場所：寝屋川市民会館
第1会議室(2階)
日時：1時半開会 4時閉会
講演：梅田章二弁護士
各9条の会からリレートーク

職員日誌



中谷
光夫

新緑が映える季節とはいえ、寒暖の差が大きく、年のせい、体調不良が続いています。昨年も同様でした。

仕事で夜遅くなる日々が多く、不規則な食事、睡眠不足、運動不足の悪循環が続いている結果です。とはいえ、改善の努力不足も認めません。三日坊主にもならないくり返しますが、やはり改めて決意したいと思います。